

第 1 号議案 事業報告および活動計算に関する事項

2020 年度 事業報告書

1. 事業活動方針

環境問題に関する政策提言、調査研究、普及啓発、交流等に関する事業を行い、環境の保全に寄与した。

2. 事業内容

(1) 環境問題に関する政策提言

1) 持続可能な脱炭素社会に向けた政策提言

内容：「環境・エネルギー政策にもっと市民の意見の反映を」「新型コロナ対策を、持続可能な脱炭素社会の実現につなげて」などの緊急声明を出したほか、会報などを通じて、政策提言や啓発活動を継続的に行った。またグリーン連合と協働して炭素税導入等気候変動対策の促進を要望した。

日時：2020 年 4 月より随時

従事人員：4 名

対象：政府、一般市民、企業等

2) 日本国憲法に環境原則（持続性原則）を導入することについての政策提言

内容：国会議員に提言を郵送するなどの働き掛けを行ったが、コロナ感染拡大に伴い、集会などの開催はできなかった。

従事人員：2 名

対象：一般市民、メディア、政党等

3) グリーン連合活動

内容：2015 年 6 月に設立したグリーン連合の活動として、市民版環境白書（グリーン・ウォッチ）の発行支援、NPO 活動促進のための政策提言、環境省との意見交換会等其他の NPO と連携して継続的に行った。また国立環境研究所と連携して、日本の環境 NPO/NGO の活動実態と課題に関するアンケート調査を行った。

日時：2020 年 9 月より随時

従事人員：2 名

対象：会員および一般

(2) 環境問題に関する調査研究

1) 調査研究

① 中小企業の脱炭素化を支援する活動

内容：コロナ感染の影響により、参加する企業がなく実施に至らなかった。

②市民版環境白書 2020（グリーン・ウォッチ）の発行支援と次年度白書の編集・執筆

内容：グリーン連合が設立以来継続している市民版環境白書の6冊目となる2020年版を2020年5月末に発行した。当会は、従来より継続的に執筆や編集責任者として本事業の中心的役割を果たしており、これを継続した。

日時：2020年4月～2021年3月

従事人員：3名

対象：会員および一般

2) 部会活動

①倫理部会

内容：脱炭素社会における価値観やライフスタイルの在り方など、環文ブックレット「生き残りへの選択」（2013年発行）なども活用しながら、議論を深めた。

日時：2020年7月より1か月に一度程度（Zoomによるオンライン開催）

（7月31日、8月29日、9月26日、10月31日、12月5日
2021年1月26日、3月16日）

従事人員：3名

対象：会員および一般

②憲法部会

内容：コロナ感染拡大に伴い、イベント等の開催が困難になったため、主だった活動は休止した。

③脱炭素部会

内容：コロナ感染拡大に伴い、イベント等の開催が困難になったため、主だった活動は休止した。

(3) 環境問題に関する普及啓発

1) 会報の発行

内容：会報「環境と文明」を発行した。発行から3か月後にウェブ上での全文掲載を実施するとともに、「風」欄の英語での発信を行った。

	発行月	月毎のテーマ
2020年	4月号:	気候変動政策の遅れの現状とそのことが及ぼす影響
	5月号:	コロナ禍とグローバルゼーションをどう考えるか
	6月号:	コロナ禍を経験して改めて考える持続可能な暮らしと社会
	7月号:	コロナ禍を経験して改めて考える持続可能な暮らしと社会②
	8月号:	いつもと違う今年の夏、新しい休日、夏休みの過ごし方
	9月号:	市民力
	10月号:	こんな国・社会を残したい、創りたい

	11月号:	生物界の危機
	12月号:	学び考え行動する人をどう育てるか
2021年	1月号:	2021年への想い
	2月号:	福島は今
	3月号:	「2050年カーボンニュートラル」を実現するには

日時：毎月15日、年12回発行

従事人員：4名

対象：会員および一般

2) 「経営者「環境力」大賞」の顕彰・発表会

内容：13回目となる「2020年度 経営者「環境力」大賞」の応募を行い、1月12日にオンラインにて審査会を開催し、6名を大賞に、1名を奨励賞に決定した。本年度は、昨年度実施できなかった2019年度顕彰式並びに発表会も併せて、オンラインにて開催した。

日時：2021年1月12日 審査会（Zoomによるオンライン開催）

2021年2月26日 顕彰式・発表会（Zoomによるオンライン開催）

従事人員：5名

対象：会員および一般

3) 環境文明塾の開催

内容：脱炭素社会を生きる次世代、主に企業人に対して、環境問題の歴史とその背景、環境問題の現状と世界の動向、これから求められる生き方・哲学や社会・経済の在り方など、環境と文明の視点から幅広く話題提供を行うとともに、議論を通じて、実践力・行動力を培う場を設けた。本年度は第1期の後半を実施したが、新型コロナウイルス感染防止のためオンライン開催とした。なお、講師には理事等のご協力を頂いた。

日時：2020年2か月に1回程度（Zoomによるオンライン開催）

第4回6月26日

話題提供：①「技術がもたらす功罪—プラスチックとデジタル化・AIに関する技術」

田崎智宏氏（国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター）

②「技術にどこまで頼るのか～コストや安全性が課題～」

横山裕道氏（科学・環境ジャーナリスト）

第5回9月11日

話題提供：①「脱炭素社会を支える思想・哲学をどう経営に活かすか」

加藤三郎、藤村コノエ（NPO法人環境文明21）

②「我が社のDXへの取り組み」

林英夫氏（武州工業株式会社代表取締役会長）

第6回 12月4日

話題提供：①「日本の市民社会の現状と課題～オーストラリアの観点から」

大久保規子氏（大阪大学大学院教授）

②「市民の政策形成への参加と NPO の役割～環境分野での取組事例」

藤村コノエ（NPO 法人環境文明 21 代表）

③川田龍平参議院議員（国会会期末の様々な会議の合間にお話頂いた）

従事人員：4名

対象：会員および一般。特に会員企業の若手・中堅の従業員

4) 環文ミニセミナーの実施

内容：コロナ感染拡大によりイベントやシンポジウム開催が困難になったこと、また会報の内容をわかりやすく伝えることを目的に、Zoom によるオンラインでのミニセミナーを開始した。

日時：第1回 2020.9.4「プラスチックを考える」 田崎智宏氏

第2回 2020.9.18「環境文明論から見たリニア中央新幹線の問題点」加藤三郎

第3回 2020.10.2「欧州・ドイツの環境 NGO/NPO 政策」大久保規子氏

第4回 2020.10.16「石巻発 寄付車で作るやさしい未来」吉澤武彦氏

第5回 2020.11.6「いつもの暮らしの持続可能な発展」西岡秀三氏

第6回 2020.11.20「気候安全保障：気候変動による複合的リスク」亀山康子氏

第7回 2021.1.22「生物多様性と新型コロナ」五箇公一氏

第8回 2021.2.5「学び考え行動する人をどう育てるか」浅利美鈴氏

第9回 2021.3.5「福島の今 厳しい状況が続く」伴英幸氏

5) シンポジウム等の開催

①グリーン連合「市民版環境白書 2020（グリーン・ウォッチ）発行記念シンポジウム」支援

内容：グリーン連合の「市民版環境白書 2020（グリーン・ウォッチ）発行記念シンポジウム」を他の NPO と連携してオンラインにて開催し、環境の現状とともに、環境 NPO の発展策について議論した。

日時：2020年6月5日（Zoom によるオンライン開催）

従事人員：4名

対象：会員および一般

②高校生による「エコクイズ」支援

内容：支援を予定していた「エコ動画甲子園事業」（高校生の環境意識を高め、具体的な行動のきっかけを提供することを目指したエコ動画コンテストの開催）は、コロナ禍で各高校の対応が困難となったため、経過措置として同事業実行委員会が行った、高校生を対象とした「エコクイズ」の実施を支援した。

日時：2020年9月より2021年2月まで毎月1回実施

従事人員：4名

対象：会員および一般

(4) 環境問題に関する交流

1) 全国交流大会

内容：オンラインによる開催を企画したが、参加者が非常に少なかったことから、環境力大賞顕彰式と併せて実施した。

従事人員：4名

対象：会員および一般

2) 経営者「環境力」クラブの活動

内容：本年度は総会、勉強会をZoomによりオンラインにて開催し、企業の環境力の普及に繋げる活動を行った。

日時：2020年7月29日 総会・勉強会

話題提供：①「コロナの経験を踏まえた脱炭素社会への取り組み」

増井利彦氏（国立環境研究所社会環境システム研究センター
（統合環境経済研究室）／室長）

②「脱炭素、コロナも踏まえてのこれからの企業経営」

林英夫氏（武州工業株式会社 代表取締役会長）

石川武氏（三共精機株式会社 代表取締役会長）

2021年2月26日 勉強会 <経営者「環境力」大賞顕彰式・発表会第2部として実施>

『真のグリーン・リカバリーとは～2つの危機を乗り越えるための価値観と仕組み～』

話題提供：①「緑の復興からネットゼロ社会へ（移行の課題）」

松下和夫氏（京都大学名誉教授）

②「企業が考えるSDGsと日本社会のリデザイン」

中島伸二氏（東京ガス㈱サステナビリティ推進部部長）

従事人員：4名

対象：経営者「環境力」クラブ会員

3) エコツアーの開催

内容：本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、岩手県にある「石と賢治のミュージアム」と参加者をWebでつなぐ「Webエコツアー&シンポジウム～宮沢賢治最後の職場を訪ねて」を開催した。

日時：2020年11月28日（Zoomによるオンライン開催）

話題提供：①「賢治と東北砕石工場」菅原淳氏（石と賢治のミュージアム館長）

②「宮沢賢治の思想・感性を「環境危機」時代に活かす」加藤三郎

対象：会員及び一般

4) 支部活動

①関西グループ

内容：地域の市民および市民団体等との交流・意見交換。エコサロン大阪の開催。

日時：毎月1回程度開催

場所：奈良県、大阪府等

対象：会員および一般

(5) その他

1) インターンの受け入れ

内容：昨年度に引き続き、SOMPO 環境財団の CSO ラーニング制度を活用し、オンラインでの研修を条件に、インターンを受け入れた。

日時：2020年6月～2021年1月（Zoomによるオンライン研修）

2) 会員の状況

2021年4月末現在	304名	(正会員71、学生1、賛助個人181、団体13、企業19、購読16、サポーター3)
2020年4月末現在	320名	(正会員74、学生0、賛助個人194、団体13、企業19、購読17、サポーター3)
2019年4月末現在	318名	(正会員72、学生0、賛助個人198、団体13、企業18、購読13、サポーター4)
2018年4月末現在	331名	(正会員69、学生2、賛助個人214、団体13、企業19、購読14)
2017年4月末現在	340名	(正会員68、学生4、賛助個人218、団体15、企業20、購読15)
2016年4月末現在	359名	(正会員69、学生6、賛助個人229、団体15、企業25、購読15)
2015年4月末現在	382名	(正会員70、学生6、賛助個人247、団体15、企業26、購読18)